

# 学校の概要と沿革

## 1. 生徒と地域の状況

礼文島は、豊かな自然と水産資源、そしてそこに暮らす人々の、素朴であたたかな人間性で広く知られた、日本最北端の島である。眼下に礼文の玄関口・香深港を、彼方に秀峰利尻富士を望む校舎で、生徒は次代の担い手となるべく、自立と共生の基礎を学んでいる。

古くから学校と地域のつながりが深く、教育への理解と協力が根付いた礼文で、生徒は感謝の気持ちを胸に明るく、元気に生活している。また、保小中高の教育連携が平成17年を機に推進され始めたことに伴い、長期的な視点に立った町ぐるみの教育実践が充実し、生徒は素直で優しい地域のリーダーとしても活躍している。「考える・思いやる・鍛える」の校訓の下に、学力・体力づくりに粘り強く取り組むと共に、自分たちの力で学校・家庭・地域を明るくしようという校風が、伝統として受け継がれている学校である

現在の在籍生徒の家庭は、漁業ならびに漁協・水産関係3割、公務員1割、その他6割と多岐に亘っている。校区には14の自治会があり、約600世帯全戸に対し学校便りを始めとする配布物を定期的に届ける活動を校外班ごとに続けている。年間を通して、生徒の出身校である礼文小学校・香深井小学校と行事や授業で交流を行っているほか、地域の高校である礼文高校とも進路指導での連携を始め、相互に教育活動における協力協同を進めている

## 2. 学校の沿革

本校は、昭和22年に香深村立香深中学校として開校。新制中学の始まりと同時に、内路地区に分校を有する形でその歴史をスタートさせた。開校4年目に内路分校が香深村立内路中学校として独立したのを機に、昭和25年には校歌、昭和27年には校旗を制定し、戦後の復興と共に学校としての礎を築いていった。十分な教育環境も整わぬまま、その歩みを始めた本校も昭和29年に新築校舎が完成。以降、体育館の新築、特別教室の増築と約10年にわたり、校舎の整備が進められた。町制施行に伴い、昭和34年に礼文町立香深中学校となり、昭和51年の内路中学校統合を経て、14自治会を校区とする現在の形に至る。

年号が変わり、平成9年には開校50周年記念式典を挙行し、記念誌を発行。開校70年を経て、卒業生の数は4100名を数え、島内はもちろんのこと、全道・全国からその活躍が伝えられている。

昭和22年	4月 1日 5月21日 5月22日	香深村立香深中学校設置 開校式挙行（開校記念日） 内路分校設置／父母と教師の会発足
昭和25年	5月11日	「校歌」制定／内路分校独立（香深村立内路中学校）
昭和27年	5月 3日 10月 1日 10月 7日	「校旗」制定。入魂式および推戴式 本校階上3教室新築落成 開校5周年記念式典挙行
昭和29年	11月29日	新築校舎落成式および祝賀会
昭和32年	10月14日	開校10周年記念式典挙行
昭和34年	4月 1日	「礼文町立香深中学校」となる
昭和38年	2月22日	体育館完成
昭和39年	1月20日 12月10日	体育館新築落成記念式典挙行 南側2教室（旧音楽室・被服室）増築落成
昭和40年	10月30日	南側2教室（旧調理室・理科室）増築落成
昭和43年	12月14日	開校20周年記念式典挙行
昭和51年	4月 1日	内路中学校、本校に統合
昭和58年	11月25日	校舎改築竣工落成式（現食堂・図書室棟）
平成 6年	12月10日	体育館及び特別教室落成記念式典挙行
平成 9年	10月10日	開校50周年記念式典および記念祝賀会挙行
平成17年	7月29日	トイレ改修（水洗化）工事着工（8月完成）
平成20年	8月 1日 9月 5日	第59回北海道中学校軟式野球大会出場 第38回北海道中学校卓球大会 個人戦出場 平成20年度「少年の主張」北海道大会出場
平成21年	7月31日 9月 4日	第39回北海道中学校卓球大会 個人戦出場 平成21年度「少年の主張」北海道大会出場 優秀賞受賞
平成22年	7月31日 12月26日	第40回北海道中学校卓球大会 個人戦出場 第26回道新杯全道中学選抜卓球大会 団体戦出場
平成23年	8月 1日 9月 2日	第41回北海道中学校卓球大会 団体・個人出場 平成23年度「少年の主張」北海道大会出場
平成24年	8月 3日	第42回北海道中学校卓球大会 個人出場
平成25年	5月24日 9月 5日	校舎改修第1期工事開始（翌年1月10日工事終了） 平成25年度「少年の主張」北海道大会出場
平成26年	5月 7日 11月30日	校舎改修第2期工事開始 校舎改修第2期工事終了／災害用備蓄庫増築完成
平成27年	8月22日	南中ソーラン全国交流祭初参加
平成28年	7月30日 9月 3日	第46回北海道中学校卓球大会 個人出場 平成28年度北海道卓球選手権カデットの部 個人出場